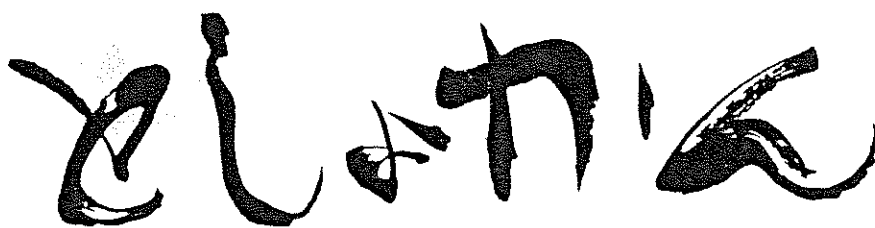


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 ☎ 36-0231

図書館を10倍楽しむ

知って得する図書館講座

なぜ図書館講座か

「図書館」というと堅いイメージが付きまといまふ。古くはメソポタミアの神殿にあった図書館、特別な人が利用する図書館のイメージが、最近までありました。

今は、「暮らしの中で役立つ図書館」が、市民の図書館であるといわれております。当館もこれを目指しております。

利用状況を見ると、市民のみなさんが、暮らしの中の疑問や問題解決のために、図書館をもっと利用してもよいのではないかと図書館員は考えています。

利用者のアンケートで、「目的の本がみつからなかった」「目的を達していないが、あきらめた」という回答がありました。

残念です。せっかく図書館まできて、目的を達しえないとは。

そこで、少しでも自分の手で自分の欲しいものを探してあげることができるようになってもらおうと考えました。本を読む楽しみのほかに探す楽しみ、人の知らないことをまとめる楽しみなどを知って

ただきたい。このため図書館の仕組みや資料の配置、資料の内容など図書館がもっているノウハウを教示します。図書館をあなたのもの一つの家畜にしたいために。

どんな内容か

人名や地名は、読めなくても恥しくないといわれるほどむずかしい。しかし、他人に話したり、書いたり、子どもに答えるとき、間違ふことができません。

たとえば、「大穴牟遲命はどんな人」といわれても即答できる人は少ないでしょう。命があるから日本書紀の世界、でも読みは...

実は、大國主命(おおくにぬしのみこと)の別名で、「おこなむちのみこと」と読みます。調べたのは、「架空の人物」人名事典(日本実業出版社編)です。神話の人物は、架空なのです。フーテンの寅さんやじゃりん子チエも一緒でした。こんな風にいろいろな楽しみを提供します。

10月6日、13日、20日の日曜日の午後を図書館員と楽しんでみませんか。



知って得する図書館講座時間割



時 日	10月6日(日)	10月13日(日)	10月20日(日)
PM1:00	開講式(オリエンテーション)	演習解答『見つかりましたか?』	演習解答『読めましたか?』
1 時 限	知っておきたい図書館 図書館のしくみ・資料の借り方・ 身障者サービス・電算・館内見学	子どもの本のさがし方 ①どんな資料があるか? ②子どもと本の結びつけ	あなたの蔵書のつくり方
2 時 限	上手な本のさがし方 整理・配架・目録	あなたの近くに図書館が やってくる	楽しい仲間学習 郷土を知る
3 時 限	貸出禁止の本を借りる法人 についての調べ方 ①どんな資料があるか? ②あなたがさがす ③演習	地名についての調べ方 ①どんな資料があるか? ②あなたが読んでみる ③演習	楽しい事業を持つために ①映画会をしたいとき ②記録のとり方、つくり方
PM4:00			閉講式

めに借りてみてください。

「宇都宮の歌壇について」 河住 玄氏

8月25日(日)「宇都宮の歌壇について」のテーマで、河住玄先生の講演会が開催されました。

今から750年前の鎌倉時代に、宇都宮の領主であった宇都宮氏を中心に栄えた和歌の文化がありました。これを「宇都宮歌壇」といい、武士の力の富強、京都の貴族文化へのあこがれ、鎌倉歌壇の影響などの背景の中で、北條氏の武家弾圧といった事件が契機となって生まれたものです。

宇都宮氏五代頼綱は、幕府への

忠誠を示すために若くして出家して蓮生法師となり、京都へ上洛して藤原定家と親交を結び、歌を学びます。この蓮生とその弟信生を中心に歌壇は栄え、その成果は「新和歌集」としてまとめられ、今も二荒山神社に伝えられています。

宇都宮歌壇の作品は、京都で編さんされた勅撰和歌集にも加えられており、その実力は高く評価されていきました。しかし、鎌倉幕府の衰えとともに武士の文化であった宇都宮歌壇も消滅し、時代は南

北朝の戦乱へと突入していきます。集まった方の中には宇都宮歌壇について初めて耳にされる方も多かったらしく、郷土に優れた古典文化のあったことに感銘を受けられた様子でした。郷土の文学や芸術に対する関心は高く、再度このような講座を望むという声も、たくさんありました。



「魅力ある紙芝居」 堀尾青史氏

9月8日(日)「子どもと子どもの本をつなぐ講座」第2回が、紙芝居をテーマにして開かれました。初めに「子どもの現在おかれている状況を情けなく思っている」と嘆かれた堀尾氏は、あるべき子供の姿を回復するための紙芝居の役割を、子供の文化全般を視野に入れて話されました。

イザベラ・バードが「日本奥地紀行」に記した昔の子供の風景―道路で子供が賑やかに遊び、母親

が静かに見守る風景、夕暮時の家々から教科書を音読する声がもれる風景を原風景として提示し、統制されつつある教育の中で、テレビ・マンガの影響によって豊かな言葉と感情を失いつつある母子の姿をそれに対峙させています。子どもに与える文化にはそれぞれ役割があります。演劇には生の迫力があるし、映画では連続した画像が見られます。紙芝居は映画のように動かないが、動かない



からこそ正確にイメージを把握される利点があります。どれかだけではなくそれぞれが複合して子どもを育んでいきます。比較的簡単に見られて、演ずる人と同じかふれられる紙芝居は、子どもがコミュニケーションを回復するための仲だちにピッタリといえます。

「時代を生きるということ」 立松和平氏

8月18日(日)ステーション・マスター研修会兼読書講座を、郷土の作家立松和平氏を迎えて開催しました。テーマは、「時代を生きるということ」でした。

冒頭に最近亡くなった親友のたこ八郎氏の通夜の話がありました。たこ八郎氏は、ボクシングが好きでパンチ・ドランカーになってしまったが、それ以前から由利徹の門を叩いていた。このたこ八郎氏は、現代の一寸法師だろうと立松氏はいい切ります。

昔話の中の一才法師もおわんの船に箸の権で、田舎から京に出ます。昔は川が重要な交通手段でしたから、現代なら新幹線にのって上京するのと同じ意味があります。一寸法師は、針を武器に鬼退治、たこ八郎氏は右腕一本でチャンピオンになりました。

このことは、農村で生活しえない者が、都会で活躍することです。農村には長男が田を守り、二・三男は他に生活の糧を求めるという価値観があります。農村の価値観は、都会では通用しません。都会には都会の価値観があるからです。山には山のそれが、海には海

のそれもあり、それらの価値観がぶつかり合っています。立松氏自身も文学という打ち出のこづちをもって生きているとのことでした。最後に、「遠雷」は、今になると価値観のきしみがでていい、そのあとの「春雷」、近く出版される「性的黙示録」をもって三作としてるので、ぜひ読んでほしいと結ばれました。



目次

問 夏休みの自由けんきゅうについて、ヒントになる本がほしい。

答 児童室に「自由研究」の本があります。希望が多く、貸出しになつていたのでしよう。あなたの日頃から好きなテーマで挑戦してください。3階のカウンターでは、喜んでお手伝いさせていただきます。

知って得する図書館講座

1面掲載のとおり開催します。

日時 ①10月6日(日)

②10月13日(日)

③10月20日(日)

3回連続

時間 午後1時～4時

場所 市立図書館3階集会室

定員 40名

講師 市立図書館職員

筆記用具をご持参ください。

名画鑑賞会

題名 「第二の男」

日時 11月3日(日)

1回 午前10時30分

2回 午後1時30分

場所 3階集会室

定員 150名。入場は無料ですが、整理券が必要

です。詳しくは、視聴覚ライブラリーへ。

ニュースコーナー

必要です。詳しくは、視聴覚ライブラリーへ。

サマースクール

8月10日11日と鹿沼で、栃木子どもの本サマースクールが、栃木子どもの本連絡会などの主催で行われました。当日、229名という多数の参加者があり、また、いろいろな分野からの参加で、大変意義のあるものとなりました。来年もという声もあがるほどでした。

展示コーナー

2階児童図書室前のロビーで、10月15日まで「県内の自費出版と同人誌」をテーマに、寄贈していただいた資料から、何点かを紹介しています。ぜひ御覧ください。

このあとも、図書館や本に関することをとりあげますので、展示コーナーにお立ち寄りください。

読書活動推進講座②

前回、金子きみ氏を迎え盛況だった、読書活動推進講座の第2回目を開催します。講師、テーマは今のところ未定ですが期待してください。

日時 11月24日(日)

場所 市立図書館3階集会室

受付 11月15日(金)

落語会

第19回落語会を開催します。この落語会では、「聞く読書」として「声の図書」を作成し、目の不自由な方々に鑑賞していただきます。寄席の臨場感をだすためぜひご来場し、いっしょにお楽しみください。

日時 11月30日(土) 午後3～5時

場所 市立図書館3階集会室

貸出状況

区分	60年8月	60年度累計 60/4～60/8
登録者数	1,488人	4,945人
貸出人数		
館内	21,966人	98,230人
視聴覚	1,729	9,020
館外	3,305	17,001
計	27,000	124,251
貸出冊数		
館内	77,206冊	304,677冊
視聴覚	4,521	21,138
館外	13,701	61,869
計	95,428	387,684

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

8月の	館内	1日あたり	館外	1週間あたり
貸出人数	845人		33人	
貸出冊数	2,969冊		137冊	

利用案内

●開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は午前9時30分～午後5時

●休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

●貸出は

図書・紙芝居

レコード

ビデオ・フィルム

あわせて13点まで。

●講座の問い合わせ・申し込み

電話または直接図書館へ

電話 (36) 0231

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	⑦	8	9	⑩	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	⑳	21	22	23	24	25
26						
27	㉘	29	30	31		

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	④	⑤	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	㉓
24	㉕	26	27	28	29	30

ボランティア製作

あたらしい本

- ▽注文の多い料理店 (北川典子)▽鏡の中の顔 (小林ヒサ)▽幻の四重奏 (梶原ゆみ子) 声の図書
- ▽火の昔 (黒川敏子)
- ▽オーストラリア (佐藤孝子)▽日本の伝説
- ・トットちゃんネル・複合汚染
- 下巻・砂糖キビ畑のまればと (藤田東子)▽教育はどこへ (木立とみ)▽イソップ物語 (丸山行江)
- ▽悪魔の降誕祭 (須藤秀代) 悪魔の家 (館野ひろ子)▽医者きらいに捧げる本 (長浜富子)

奇 贈

- 稲葉フク子「日本の愛の詩」森正義「世界の文学」鴨下祐子「地球の危機」西山太平「絵画投資」石崎達「ロータリーの友」上條武「孤高の道しるべ」薄井淳「戦争終結の詔勅」矢吹清人「随筆集アニーの夏」海野力「陸軍」等兵「益子路子」博物誌「市川順子」活用英文法「佐藤孝子」少年少女世界の名作文学「河住玄」新和歌集註釋「阿部邦男」考古学の先覚者たち「高村康」下野人形「日本国史」ほか多数

点訳図書